

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和4年10月11日
枚方市立菅原小学校

文部科学省が今年4月に実施した、令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について、全国を基準とした経年推移等によって、本校の学力や学習の状況を保護者の皆様にお知らせします。結果によると、児童の生活習慣と学力には相関関係があることから、引き続き、保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

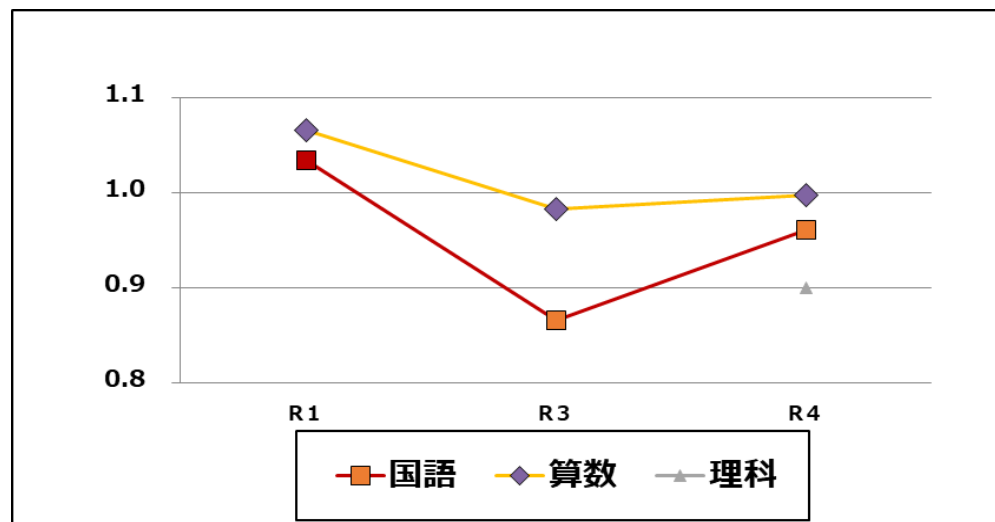
【全体概要】

学力調査の結果

学力調査結果の中から、本校と全国の経年比較(対全国比)をお知らせします。

※調査結果について
教科や出題範囲が限られていることから、
全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部です。

(全国の平均正答率を1とした経年比較)



対全国比 (全国を1とする)	
国語	0.96
算数	1.00
理科	0.90

※令和2年度は中止のため、掲載していません。また、理科は令和元年、令和3年度、未実施の為、掲載していません。

<学力調査結果の概要>

○国語について

→ 平均正答率は、対全国比マイナス0.04となりました。

○算数について

→ 平均正答率は、対全国比プラスマイナス0となりました。

○理科について

→ 平均正答率は、対全国比マイナス0.10となりました。

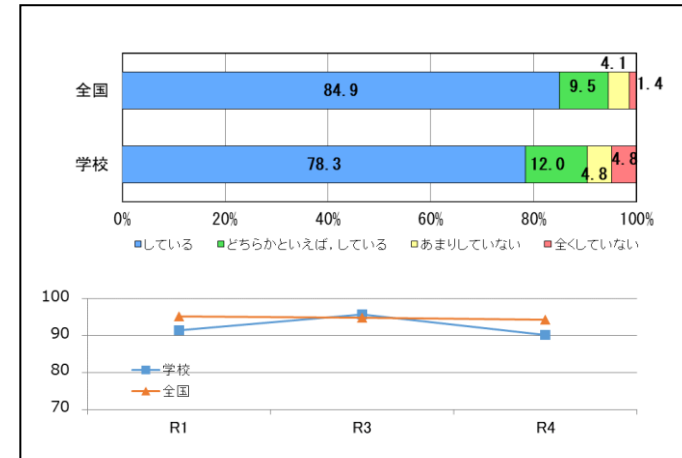
質問紙調査の結果

※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。
※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。
※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合があります。

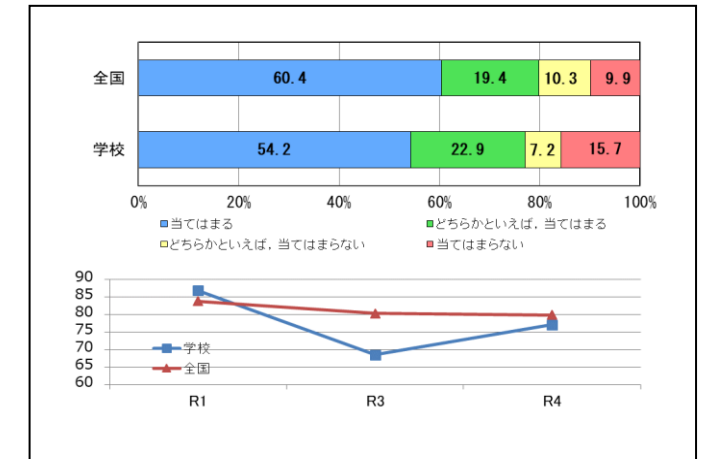
質問紙調査結果の中から、主な項目について、本校と全国の経年比較をお知らせします。

▲ 全国
■ 本校

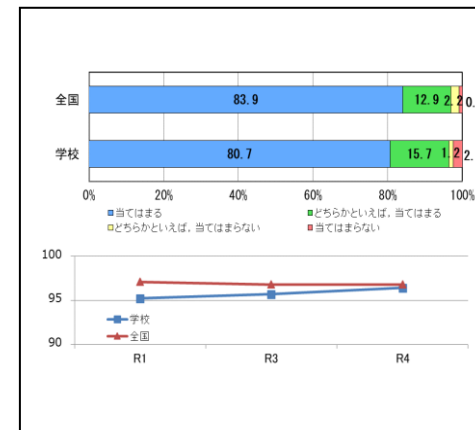
朝食を毎日食べている



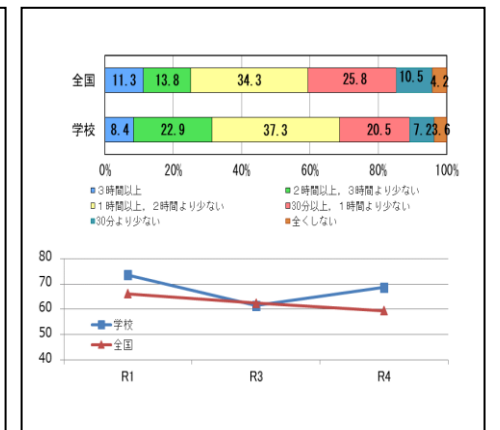
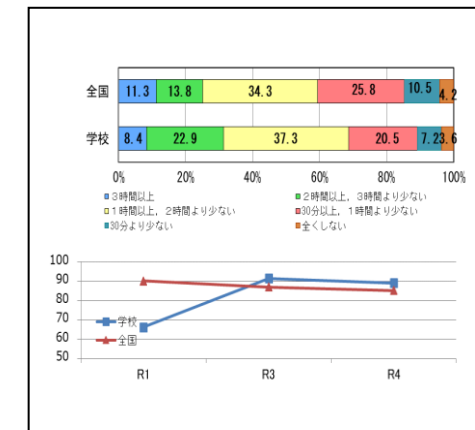
将来の夢や目標を持っている



いじめはいけないことだと思う



授業時間以外(月～金)勉強時間



<質問紙調査結果の概要>

- ・約9割の児童は、毎日、朝食を食べています。
- ・現在の頑張りの動機づけとなる将来の夢や目標を持っている児童数が増加し、全国平均とほぼ同割合で将来の夢や希望を抱いている児童がいます。
- ・約97%の児童が「いじめはどんなことがあってもいけないことである。」というしっかりとした考えや思いを持っています。
- ・家庭学習について、一日30分以上・一日1時間以上共に、取り組んでいる児童が全国より多くいます。

まとめ

朝食摂取の児童が約9割の数値を示されていますが、健康的・規則的な生活習慣の定着のためにも、継続して啓発が必要であると考えています。将来の夢や目標を持つことは、夢や目標の実現に向けて、今を主体的に生きることに繋がり、とても大切なことでもあります。いじめることは、人間として決して許されないことであり、人が生きる上でとても重要なことでもあります。学校外での学習時間の確保が確実に行われ、主体的に取り組む学習時間が全国平均を上回っています。

- ・将来に夢や希望を抱き、今を前向きな姿勢で主体的に行動する態度を育むこと。
- ・さらに規範意識や思いやりの心の醸成を図ること。
- ・人間関係の構築の基本である「挨拶」を進んで行う姿勢を育むこと。

主体的な生きる力を育むよう、保護者及び地域の皆様と連携し、教育活動を推進していききたいと思います。

※次ページ以降に、「各教科に関する調査」「質問紙調査」における詳細な結果について公表しております。

【詳細について】

教科に関する調査

<国語>

成果や課題があった設問

【成果】

問題1の三【話し合いの様子の一部】で、中村さんが前田さんに質問し、知りたかったことの説明として適切なものを選択する

三 【話し合いの様子の一部】で、中村さんが前田さんの発言に対して、____部ウのように質問し、知りたかったことはどのようなことですか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

ペンキをぬり直すことが、

- 1 公園の遊具で遊べることに繋がる理由
- 2 自分たちではできないことに繋がる理由
- 3 公園をきれいにするのに繋がる理由
- 4 ごみのない公園になることに繋がる理由

【課題】

問題3の二

【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く

二 (問い)

島谷さんは、川口さんと伝え合ったことをもとに、自分の文章のよさをふり返り、書くことにしました。あなたが島谷さんなら、どのようなよさを書きますか。次の条件に合わせて書きましょう。

- <条件> ○【文章2】のよさを書くこと。
○【文章2】から言葉や文を取り上げて書くこと。
○ 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと

	正答率	無解答率
本校	88.8	1.3
全国	84.7	1.0

(考察)

地域のためにできることとして公園をきれいにする話し合いの内容を理解することがポイントとなっています。特に、____部ウの「どうして、公園の遊具のペンキをぬり直すことが必要なのですか。」の前後の文脈を的確に読み取り、理解できていることが、正答率が90パーセント近くになっていると思われます。

	正答率	無解答率
本校	28.8	25.0
全国	37.7	14.0

(考察)

【文章2】の内容「六年生としてがんばりたいこと」を的確に読み取り、その内容を参考にして、条件を付けて、自分のこととしての文章表現を求められています。理解力、想像力、表現力が求められている問いであります。

無解答率の数値が解答の難しさを顕著に表していると思われます。日々の学習を通して、読み取る力、思考力や表現力等の向上を意識した繰り返しが必要と考えています。

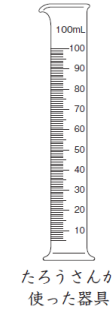
<理科>

成果や課題があった設問

【成果】

問題2の(1) 一定量の液体の体積を適切にはかり取る器具の名称を書く

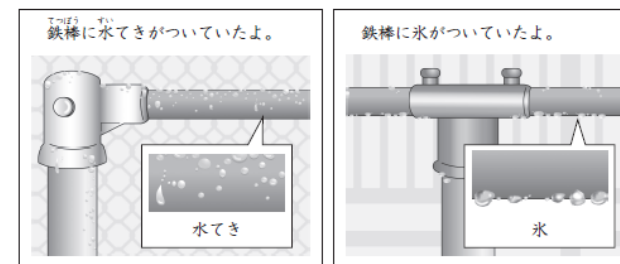
- (1) たろうさんは、実験で使用する砂糖水と食塩水をつくるために水50mLを右のような器具を使ってはかりとることにしました。たろうさんが使った器具の名前を書きましょう。



【課題】

問題4の(4) 鉄棒に付着していた水滴と氷の粒は、何が変化したものかを書く

- (4) よしこさんは、インターネットを使って、各地の友達から朝のようすの写真を送ってもらいましたが、その中で2枚の写真が気になりました。



よしこさんは、2つの現象を調べて、次のようにまとめました。□にあてはまることばを書きましょう。

朝、鉄棒に、水てきや氷がついていた。気温が下がり、空気中の□が冷やされて、水てきや、水てきになったあと氷になる現象が見られた。左の写真は「つゆ」、右の写真は「とうろ」というらしい。気温のちがいによって、異なる現象が起こることがわかった。

	正答率	無解答率
本校	80.0	6.3
全国	67.8	9.8

(考察)

理科の実験で様々な器具を使用されますが、安全に使い、安全に保管することは、とても重要であります。名称を確実に覚えておくことも、実験を安全に進めるためにも必要なことです。日常の実験器具の安全な使用及び保管が名称を覚えることに繋がっていると思われます。

	正答率	無解答率
本校	52.5	11.3
全国	62.0	6.2

(考察)

地球に関する問題で、自然の事物や現象の理解を確認する問題です。

人間が生活している自然界の大気(空気)の中には、水が、水蒸気となって含まれていることを理解しているかを問われています。

日常生活の中で起こっている(存在している)自然現象にもっと興味・関心を持ち、問題解決等に役立てるよう、働きかけることが必要と考えています。

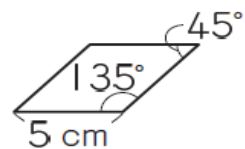
<算数>

成果や課題があった設問

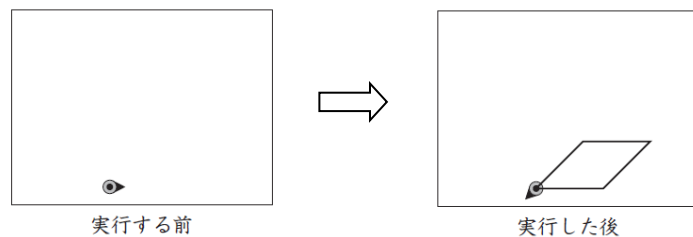
【成果】

問題4の(3) 辺の長さや角の大きさに着目し、ひし形をかくことができるプログラムを選ぶ

(3) 次に、はなこさんは、正方形のプログラムの一部を変えて、下のようなひし形をかくためのプログラムをつくりました。



プログラムを実行すると、次のようにひし形をかくことができました。



ひし形をかくことができるプログラムはどれですか。

右のアからエまでのの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

<p>ア</p> <p>5cm の直線を引く。 ↓ ↓ 左に45° 回転する。 ↓ ↓ 5cm の直線を引く。 ↓ ↓ 左に45° 回転する。 ↓ ↓ 5cm の直線を引く。 ↓ ↓ 左に45° 回転する。 ↓ ↓ 5cm の直線を引く。</p>	<p>イ</p> <p>5cm の直線を引く。 ↓ ↓ 左に45° 回転する。 ↓ ↓ 5cm の直線を引く。 ↓ ↓ 左に135° 回転する。 ↓ ↓ 5cm の直線を引く。 ↓ ↓ 左に45° 回転する。 ↓ ↓ 5cm の直線を引く。</p>	<p>ウ</p> <p>5cm の直線を引く。 ↓ ↓ 左に45° 回転する。 ↓ ↓ 3cm の直線を引く。 ↓ ↓ 左に45° 回転する。 ↓ ↓ 5cm の直線を引く。 ↓ ↓ 左に45° 回転する。 ↓ ↓ 3cm の直線を引く。</p>	<p>エ</p> <p>5cm の直線を引く。 ↓ ↓ 5cm の直線を引く。 ↓ ↓ 左に45° 回転する。 ↓ ↓ 左に135° 回転する。 ↓ ↓ 5cm の直線を引く。 ↓ ↓ 5cm の直線を引く。 ↓ ↓ 左に45° 回転する。</p>
--	---	--	---

	正答率	無解答率
本校	75.0	1.3
全国	66.5	4.6

(考察)

「実行する前」の点から始まり、「実行した後」までの動きの「ひし形をかく」プログラムで、「5cmの直線を引く。」「左に45°回転」「左に135°回転」等の指示内容に合わせて、ひし形の図をイメージながら、「直線を引く順番」を考える必要があります。それらの想像力やプログラムの指示内容の理解力も必要となります。

それらの様々な点において、理解すること、想像することや判断することが的確に出来ていたと思われます。そのことが無回答率についても、低い数値になったと思われます。

【課題】

問題1の(3) カップケーキ7個分の値段を、 $1470 \div 3$ で求めることができるわけを書く

(3) 次に、くるみさんは、カップケーキの個数を7個にそろえて考えることにしました。

【くるみさんの考え】

Aセットのカップケーキ7個分の値段 $1050 \div 2 = 525$ 525円
 Bセットのカップケーキ7個分の値段 $1470 \div 3 = 490$ 490円
 カップケーキ7個分の値段は、Bセットのほうが安くなります。



Aセットのカップケーキ7個分の値段を、 $1050 \div 2$ で求めることができるのはどうしてですか。

ゆうとさんは、Aセットのカップケーキ7個分の値段を、【くるみさんの考え】の中の「 $1050 \div 2$ 」で求めることができるわけについて、下のように説明しました。

Aセット
(14個入り)
1050円



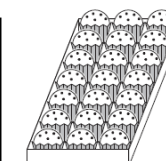
【ゆうとさんの説明】



1列のカップケーキが7個ずつ2列あります。2列の値段が1050円なので、1050を2等分すれば1列に並んでいるカップケーキ7個分の値段を求めることができるからです。

Bセットのカップケーキ7個分の値段を、【くるみさんの考え】の中の「 $1470 \div 3$ 」で求めることができるわけについて考えます。そのわけを【ゆうとさんの説明】と同じように、言葉と数を使って書きましょう。

Bセット
(21個入り)
1470円



	正答率	無解答率
本校	65.0	8.8
全国	76.0	5.2

(考察)

日常生活の中で、物を購入するときに、単品で購入するとき、セットで購入するときの単価の違いを確認したり、お得に購入したりするときの考え方を問う問題です。

本設問の主旨を理解すると共に、【ゆうとさんの説明】の内容も理解する必要があります。

Aセットの個数 14個は、7個×2列(2倍)

Bセットの個数 21個は、7個×3列(3倍)

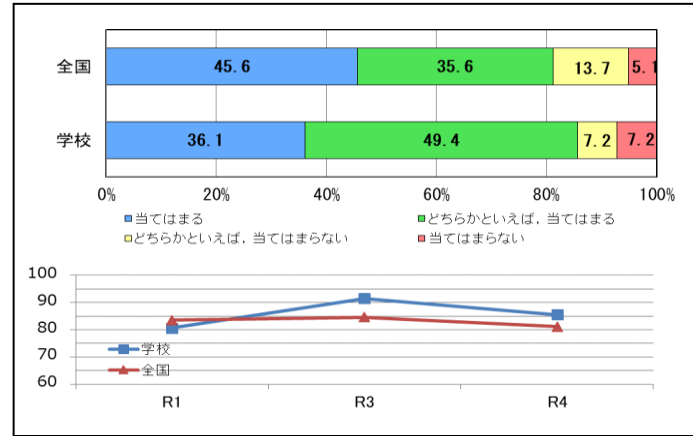
となっていることを理解することが出来ていても、単なる計算問題ではなく、文章問題の設問の主旨を理解すること、及び文章で解答することに戸惑いもあったのではないかと思います。そのことが無回答率の数値に表れていると思われます。

質問紙に関する調査

※帯グラフは、左から「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」を示しています。
 ※折れ線グラフは、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計数値となっています。
 ※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合があります。

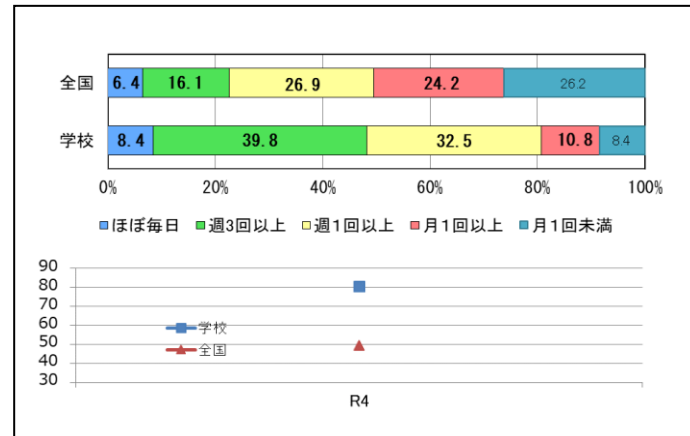
【成果のあった項目】

算数の授業はよく分かる

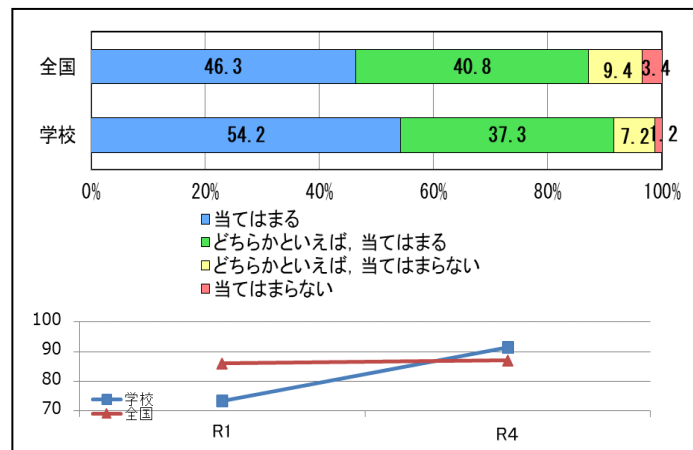


学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか

▲ 全国
■ 本校

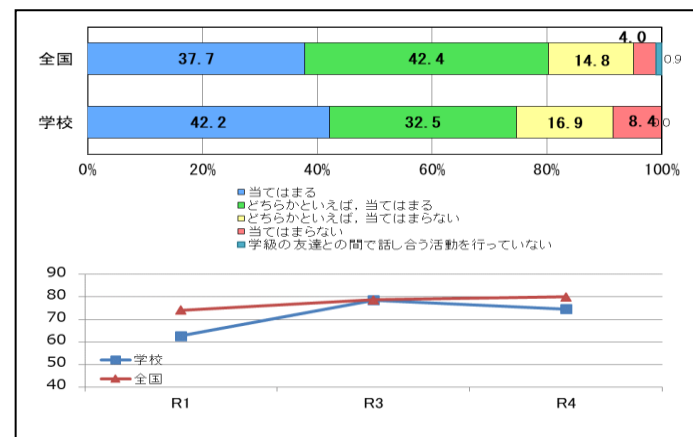


先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

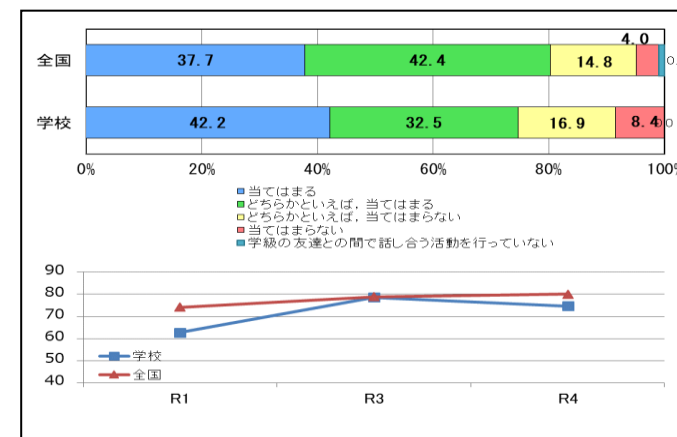


【課題が残った項目】

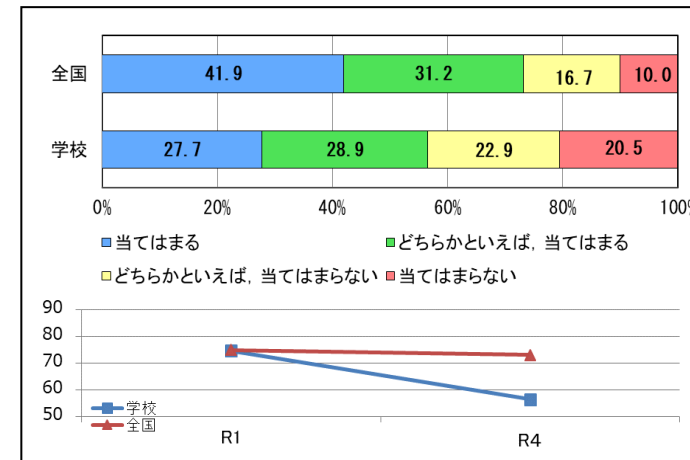
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している



読書は好きですか



(考察)

・学級の友達との間で話し合う活動について、タブレットを使った意見交換では、全国平均を上回っています。今後、学級活動での「話し合い活動」の充実を図り、生徒の自主的な態度等の育成を図っていききたいと思います。
 ・様々な教育活動の中で、児童が失敗を恐れず、進んで取り組む姿勢を育成するよう、その充実に向けていききたいと思います。
 ・学校では、週1回の読書活動を継続していますが、その時間以外は、ゲームや外で遊ぶ方が楽しいと感じ、読書する機会から遠ざかっている状態と思われます。読書の楽しさを感じさせながら、継続して取り組んでいききたいと思います。

分析結果を踏まえて今年度中に取り組んでいくこと

(1) 授業改善について

・学力テストで課題だった学習内容は、学年ごとの系統性を意識しながら学習指導要領に記載されている「内容」を基に重点的に授業づくりに取り組み実践しています。
 (下記は、学力テストの分析結果を踏まえ、3つの教科ごとに「身に付けさせたい力」を焦点化したものである。)

- 【国語】「思考・判断・表現」・A 話すこと オ ・B 書くこと オ ・C 読むこと エ
- 【算数】「思考・判断・表現」・A 数と計算(2)イ(ア) ・B 図形(1)ア(ア) (5)ア(ア)イ(ア) 「知識・技能」・C 変化と関係(3)ア(ア)
- 【理科】「知識・技能」A 区分「エネルギー」を柱とする領域(3)ア(ア) 「思考・判断・表現」B 区分「地球」を柱とする領域(4)ア(ア) 「知識・技能」A・B 区分「粒子」「地球」を柱とする領域(2)ア(ア)・(4)ア(イ)

・ICT機器を有効に活用し、児童の興味・関心につなげるとともに、個に応じた指導や学習形態を心掛け、丁寧に取り組んでいきます。

- 実践① ロイロノートを活用し、児童の意見を全体へ発信・共有する。
- 実践② 授業で効果的な資料をテレビにうつし、視覚的に捉えやすくする。
- 実践③ タブレット上で取り組める学習形態をとりつつ、シームレスな学習にもつなげる。

・「枚方スタンダード」を基に、授業の流れ(PDCA サイクル)を意識し、実施していきます。
 →授業の「めあて」を示し、一時間の授業の見通しを持たせる。
 →校内で作成した「ふりかえり4つのポイント」を示し、個々の児童の学習意欲や理解度を図る。
 ・相互授業交流会を実施し、教員間で授業力の向上をめざし、取り組んでいきます。
 →学期ごとに1回実施し、放課後に意見の交換をしよう。

(2) 家庭学習について

・今までと同様に、計算ドリルや漢字ドリルを基本とした宿題に加え、児童が自分の課題を中心に宿題を取捨選択しながら取り組める「計画表」の作成をしています。また、シームレスな学習にもつなげられるよう、紙媒体の課題だけでなく、タブレット上でのやり取りも可能にしています。(一部の学年から実施)
 ・3学年以上で自主学習を週に一度実施し、毎月、廊下に数人の取り組み内容を掲示しています。他の児童がどのような取り組みをしているのかを見える化することで、児童同士の相乗効果をねらいとしています。
 最後に、子どもたちの将来に向けて、今後も全教職員で力を合わせ、より良い教育活動の推進に努めてまいります。保護者の皆様、引き続き、ご理解、ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。